

＜拡大写本＞ 大きな字の本

弱視の子ども達は、学習や読書などの時、とても不便を感じています。私達は子ども達のために、文字を大きくした読みやすい本づくりをめざしています。

子どもの図書活動を支援しているので、絵本や児童書を主に文字を打ち直して製本しています。

学習面でも何か子ども達の役に立つ本づくりを提案して、弱視のお母様方から要望が多かった、漢字の本づくりをしています。

出来上がった本は、市内の弱視教室（ひとみの教室）
道内の盲学校3校に寄贈しています。

また漢字の本につきましては、全国の弱視のお子さんに寄送できます。

＜利用者の声は＞

ひとみの教室ではプレイルームに本が置いてあります。子供を待っている間の弱視のお母様方も読んでくださっています。また、幼児のお母様も子どもと一緒に読める絵本があることが、うれしいと言ってくださり安心しましたと言ってくださいました。

漢字の本については、中1のお子さんから、とても見やすいのでこの本を見て、夏休みの宿題をやりましたと言ってもらいました。

弱視の子どもの中にも、合併症で知力の遅れを持っている子もいます。その子どもたちには絵本を読んで、学習の副読本として利用されています。（盲学校）

発達医療センターの先生から、子どもの発達の様子を見るための本として利用されています。

製本にたずさわる方が少ないので、本づくりのボランティア活動に興味のある方をお待ちしています